

「全ては若くして子宮を失わないために」

2011年7月16日

東京都
渡部 享宏



私の理念(最近の)

隙間で生きる
活かされる

趣味

スキューバダイビング
ムエタイ
放浪

氏名 渡部享宏(ワタナベタカヒロ) 生年月日 1972年5月4日 39才

住所 台東区 浅草在住(9年目) 出身 八王子市

職歴 福祉機器販売 IT関係 6年前より現職

メールアドレス watanabe@orangeclover.org

所属・肩書き

NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会
事務局長

自己PR

1994年大学在学中に若者によるHIV/AIDS予防・啓発団体「Campus AIDS Interface」を立ち上げる。個人のライフワークはセクシャルヘルス。現在も厚生労働省研究班に協力して25才以下の若者に自覚症状が出にくいクラミジアがどの程度広がっているか調査研究。野外イベントや大学学園祭などで検査キットを無料で年間約2,000名の若者に配布している。(年間15イベント)

私のFacebookアカウント Watanabe Takahiro

私のTwitterアカウント love_49

子宮頸がんを取り巻く環境



2005年 法人立ち上げ

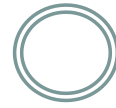
- HPVがSEXで感染することの誤解・偏見
- ネットワークの無さ
- 検診方法(細胞診)
- 子宮頸がんって何て読む？
- 社会として問題視されていない

2011年 現在

- HPVは一生に一度誰もが感染するウイルス
- 専門家会議・連絡会議
- 併用検診(細胞診+HPV検査)
- 5才刻みで検診無料クーポン
- HPVワクチン発売(公費負担)
- 子宮頸がんは誰も知っている病気になりつつある

ただ、検診率は上がっていない！！

啓発アクションについて



- 当事者に向けて: LOVE49プロジェクト みんな子宮から生まれてきた。



- 当事者に向けて: LOVE49プロジェクト カルチャー 野外イベントや街頭でのアウトリーチ
アースデイ東京、細胞検査士を中心に全国28都道府県で街頭アクション

- 子宮頸がんに関わる方々に向けて 日本子宮頸がん予防・啓発連絡会議



子宮頸がんを考える市民の会が目指すこと



・立ち上げ当初に行なった市民公開フォーラムからの学び
→ 私たちのターゲットではない来場者が目立った

・30才代がピークの子宮頸がん。
→ 子宮頸がんになるなんて考えたことがない人に向けて

・啓発団体としての限界。5年後のシステムを変えていく
→ 仕事として関わる方々の意識を変える

全ては予防できるがんで、若くして子宮を失わないために